

船橋市長の松戸徹です。

新年度が始まり、本来であれば学校生活がスタートし、子供たちも新たな気持ちで毎日わくわくしながら楽しく過ごしている時期ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、学校の休業が続いています。子供たちは自宅で長い時間を過ごすことになり、とても残念な気持ちでいることと思います。

保護者の皆様には、お子様たちの生活を守るため、様々な工夫をしていただいていることに感謝申し上げます。

4月16日、新型コロナウイルス感染症に関する「緊急事態宣言」が日本全体に発令されました。今、人との接触を8割減らすことが求められています。

＜「健康そうに見えるけれど陽性」の人が確実に存在します＞

なぜ外出を自粛しなければいけないのか、危険性が実感できない方も多いのではないかと思います。

なぜ実感できないのか。その理由の一つは、症状がなく健康な状態なのに実は新型コロナウイルスに感染しているという、無症状の陽性の人「サイレントキャリア」が、いったいどのくらい社会に存在しているかについて、データが明確に示されていないからだと思います。

＜船橋市が確認したデータでは、約28%がサイレントキャリア＞

船橋市が開設している障害者支援施設 北総育成園で、3月28日に新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生しました。

今回の集団感染に伴い、入所者と職員、職員の家族を対象に一括したPCR検査が実施されました。PCR検査は、日本では主に発熱などの症状がある人を対象に実施されるため、症状がない人も含めた全員の検査は、数少ない事例です。

その結果、発熱等の症状がなく、健康上問題なく過ごしていた人の28.1%が陽性という結果になりました。

他にも、ダイヤモンドプリンセス号や帰国者の検疫検査、アイスランドで実施された無作為抽出の多人数の検査の結果などでも、サイレントキャリアが高い確率で確認されています。

北総育成園のデータは特定のグループの検査なので、そのまま社会に置き換えることはできませんが、サイレントキャリアが一定数存在することは否定できません。

＜改めて、危機感を持って、家族を、そして社会を守ることに協力ください＞

新型コロナウイルスの行く末は、未だ見えません。

市では、市民の皆さんの命と健康を新型コロナウイルスから守るために、独自

小・中学生の保護者向け（メール）

のPCR検査やホテルでの軽症者の受け入れ体制の構築など、可能な限り取り組んでいます。日本全体でも医療機関はじめ様々な分野で、多くの関係者が日夜懸命な努力を続けています。

しかし、感染拡大防止のために一番大きな力となるのは、市民の皆さんお一人お一人の意識と行動です。

市民一人が注意をすれば、船橋市の人口に換算にすると64万倍の効果が生まれます。ご家族で意識していただければ、守られる人を飛躍的に増やすことができます。

子供たちの学校生活を取り戻すために、社会の日常を取り戻すために、皆様のご理解と行動を、心からお願いいたします。